

令和4年度

自己評価・施設関係者評価報告書

特定非営利活動法人 三樹会

認定こども園 ほぷら

## 1 本園の教育保育目標

- ①未来の社会を支えていく心身共に健康で、かしこさをもったこどもを育てる
- ②よく見て、聞いて、考えるこどもに育てる
- ③人との関わりの中で愛情・信頼・人権を大切にすることを育てる

## 2 本園における園評価のねらい

4年目となる今年度も、職員それぞれが自己評価を行った。職員自身が自園を見る目を養い、環境の改善、教育保育内容方法の改善に自主的に取り組んでいくことで、スキルアップを図る。

また、外部の皆様にご意見をいただくための保護者アンケートも行った。その評価の結果を踏まえ、保育の資質向上に向けて園全体の課題を確認し、その改善に取り組んでいくことをねらいとしている。

## 3 令和4年度施設関係者評価

保護者アンケートは、昨年度に引き続き、長引くコロナ禍での保育ということを視野に入れた内容にした。今年度もアンケート結果をもとに、保護者の想いを職員全員で話し合うことで成果や課題が見えてきた。職員それぞれが積極的に発言し、現在の状況を踏まえた教育保育内容の検討をすることが出来た。職員が自らを振り返り、ぼぶらの保育集団の一員として、共通認識のもと教育保育を展開していけるよう、振り返りをするよい機会にもなった。これらの結果を踏まえ、次年度も子どもたちの豊かな育ち、職員のスキルアップを目指す。

また、ぼぶら関係者評価委員会を設置し、職員の自己評価報告書をもとに協議を行い、意見・評価をいただくことができた。

### 保護者アンケート

令和4年11月12日

全園児の保護者を対象としたアンケートを実施し、その結果を公表する。

### 自己評価

令和4年12月23日

教職員が保護者アンケートの結果を踏まえ、評価シートをもとに、自らを振り返りながら自己評価を行った。

### 施設関係者委員会による評価

令和5年1月14日

出席委員：地域民生委員1名、在園保護者2名、卒園児保護者2名、（計5名）

職員の自己評価報告書と保護者アンケートをもとに協議した。

（施設関係者評価）

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等が適切かどうか
- ・こども園運営の改善に向けた取組が適切かどうか

保護者アンケート

## 4 結果

園児数：35名 世帯数：27世帯 提出数：26世帯

1.はい 2.いいえ 3.その他

| 評価項目 |                                             | 1  | 2 | 3 | 未回答 |
|------|---------------------------------------------|----|---|---|-----|
| 1    | 園だより（ぽぷらニュース）やHPのブログ等で園の活動を家庭に伝えている。        | 26 | 0 | 0 | 0   |
| 2    | 園では乳幼児の発達をもとに、年齢に合った教育保育を提供している。            | 25 | 1 | 0 | 0   |
| 3    | 園では個人情報の保護に配慮している。                          | 26 | 0 | 0 | 0   |
| 4    | 園では感染予防の取り組みや避難訓練などの防災活動を行っている。             | 23 | 2 | 1 | 0   |
| 5    | 園では職員が協力し合って、こどもの教育保育にあたっている。               | 24 | 2 | 1 | 0   |
| 6    | こどもの発育や発達、子育てについて職員に相談しやすい。                 | 24 | 2 | 0 | 0   |
| 7    | 職員は、愛情を持ってこどもと関わっていると感じる。                   | 25 | 0 | 0 | 1   |
| 8    | こどもは園に行くことを楽しみにしている。                        | 25 | 0 | 1 | 0   |
| 9    | こどもは園での遊びや活動を通して、お友達との関わりを体験している。           | 26 | 0 | 0 | 0   |
| 10   | こどもは園行事に楽しんで参加している。<br>（今年度はコロナ対策をとった上での実施） | 25 | 0 | 0 | 1   |
| 11   | 園の給食はこどもの健康や成長に役立っている。                      | 26 | 0 | 0 | 0   |
| 12   | 円は地域の一員として積極的に子育て支援を行っている。                  | 26 | 0 | 0 | 0   |

※数値は世帯数

## 自己評価

### 5 本年度重点的に取り組むことが必要な目標や計画

新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度に引き続き感染対策をしながらの保育となっている。「密」を避けられない環境の中、まずは、こども達の保育の保障と職員が安心して過ごせる環境づくりを最優先とした。そして、職員一人一人が本園の教育保育理念・目標に向かって保育計画をたて、日々の保育を積み重ねていくこと、教育保育活動の充実・改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とした。

また、今年度の課題を重点項目とした保護者アンケートとともに、職員自身が自己評価を行い、評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施した。

### 6 評価項目の達成及び取り組み状況

評価：A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが成果が不十分  
D 取り組みが不十分である

#### 【施設全体評価】

| 評価項目                                                    | 取組状況                                                                                 | 評価 |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 幼稚園教育要領・保育所保育指針の精神を踏まえ、園の教育・保育理念・教育・保育方針にしたがい保育を編成している。 | 職員が主体的に意見交換できる場を多く設け、他のクラスと連携を図れるよう、組織体制の充実を図った。また、キャリアアップ研修等を通じて資質を高め、日々の保育に活かしている。 | A  |
| 教育・保育要領、教育・保育課程、子どもの実態などをもとに考えて計画を作成している。               | 目の前のこども達とのかかわりや育ちについてしっかり話し合い、月週案を作成している。全体的な計画は時々確認し、実態に即した者にするための見直しをしている。         | A  |
| 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。                              | 作成した月週案をもとに、計画に加筆、訂正を行いながら保育をしている。担任だけでなく、こどもの育ちを保護者と共有し、共にこどもが伸びていく方向性を共に確認している。    | A  |
| 学期ごとに各クラスの成果と課題を報告する。                                   | 週1回の職員会議で、各クラスの様子を報告し、目標や課題を全職員が周知している。                                              | A  |

|                                                |                                                                                                                                                                                     |   |
|------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 子どもの良さを認めて評価しようとしている。                          | 集団の中にも個々を認め、全職員が全園児の情報を共有することにより、より個人理解や良さを知るように努めている。                                                                                                                              | A |
| 安全面に配慮した環境づくりを心がけ、遊びの展開を工夫する。                  | 遊具で遊ぶ際は必ず職員が見守り、事故防止に努めている。季節や年齢を考慮した遊びを通して、こども達が主体的、連続的に遊びを展開していけるよう環境を整えている。                                                                                                      | A |
| 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。                        | 日常の中で継続し、繰り返し言葉かけをして認めたりすることで、自然と身に付けられるように促している。各家庭での生活環境を連絡ノートから把握し、保護者と連携を図っている。                                                                                                 | A |
| 教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。                        | 教材研究のための園内研修をする時間をつくっている。                                                                                                                                                           | B |
| 各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。                   | コロナ禍により園外研修は減ったものの、キャリアアップ研修のようにE-ラーニングで行われる研修もあるので、計画的に参加する。                                                                                                                       | A |
| 各種マニュアルを熟読し、職員としての質の向上をはかる                     | 年度初めにマニュアルを読み合わせ、意識統一を志している。                                                                                                                                                        | B |
| 園だよりや学期ごとの学年別保護者会を通して認定こども園の情報を発信していく。         | 昨年に比べて、保護者が行事に参加することや園舎に入る機会は多くなったが、引き続き、昨年以上に園だよりやブログ等で事務連絡等の情報発信をするようにしている。                                                                                                       | A |
| 教育目標や短期の課題と連鎖した評価項目を作成し、目標・実行・評価・改善のサイクルを確立する。 | PDCA は、「計画を立ててから丁寧に実行から改善までを行う」のに対し、OODA は、「現状を把握したら、とりあえず行動に移す」という特徴がある。コロナ禍において、OODAの方がスピーディに実行することができ、Orient(状況判断/方針決定)の段階では方向性をいくらかでも変えることができるという観点から、このことを職員に周知し、意識するようになっている。 | A |

施設全体の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

施設全体の評価としては A (十分に達成されている) が多い結果となった。こども自身の喜びや楽しみを奪うことのないように、保育内容や行事を工夫し、施設全体として取り組むことができた。しかし、長引くコロナ禍で園内研修が自粛気味になり、ほぼ実施できない状態であった。質の高い教育保育を実践するためには、職員一人一人の人材育成が重要である。今年度も職員が施設評価の趣旨を理解し、振り返りと改善努力につなげることができたので、次年度も自己点検・自己評価に取り組んでいきたい。

施設全体で今後取り組むべき課題

| 課題                                  | 具体的な取り組み方法                                                                                                       |
|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育・保育要領、教育保育課程、子どもの実態などをもとに計画を作成する。 | 職員一人一人がこどもの「今」を把握し、発達段階を踏まえた上で、連続的な保育を展開していくことが大切であるという共通認識を持ち、月週案をたてていくことを再確認する。コロナ感染症の影響にも配慮し、感染症対策にも引き続き取り組む。 |
| 保護者とのコミュニケーション                      | 園内での感染拡大防止対策のため、保護者と直接対面する機会が少なく、保護者とのコミュニケーションが減ってしまう。そのため、園からの情報発信を積極的に行うことと同時に、保護者の声をていねいに聴く。                 |

【保育教諭/自己評価】

常勤職員 6名 非常勤4名

評価：◎十分達成されている ○達成されている △課題あり ×要改善

※該当外は除く

| 項目       | 評価内容         | ◎ | ○ | △ | × | 保育教諭の取り組み状況（一部抜粋）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------|--------------|---|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日常業務について | 送迎時の対応       | 3 | 7 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭への理解を深めて思いやりのある対応を心がけている。</li> <li>・日中の保護者が見られないこどもの姿をなるべく伝えられるよう心掛け、保護者と一緒にこどもの成長や課題を認識していくようにした。</li> <li>・子どもと一緒に掃除を行い、大切に使うことを伝えていった。</li> <li>・子どもの様子はノートに記入し、わかりやすく伝えるようにした。</li> <li>・子どもが気持ちよく生活し、次への行動に移せるように、見通しを持って行動できるような働きかけを心がけている。</li> <li>・保育の準備、片付けは進んでやるようにしている。</li> <li>・ロッカーの上が乱雑になりがちなので気を付けている。</li> </ul> |
|          | 連絡ノートの記入     | 8 | 2 | 0 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|          | 保育内容の向上      | 3 | 6 | 1 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|          | 環境整備（片付け・清掃） | 3 | 6 | 1 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 園児に関する業務 | 基本的生活習慣の確立   | 8 | 2 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの目線に立ったコミュニケーションを心がけ、表情やしぐさを注意深く見守ることができた。</li> <li>・発達の違いによっての対応を難しく感じるがあった。</li> <li>・個々の発達に合わせ、排泄や着脱など、進んで向かえるよう促し、自信につながる声かけを心がけた。</li> <li>・子供が自ら行動できる声かけを心がけた。</li> <li>・子どもの思いを汲み取りつつ、やりたい思い、意欲へとつながるように援助、声かけをする。</li> <li>・子どもの情報は職員間で共有し合っている。</li> </ul>                                                                 |
|          | 子どもとのかかわり方   | 7 | 3 | 0 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|          | こどもの情報（事実）把握 | 6 | 4 | 0 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|            |                     |   |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------|---------------------|---|---|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保育計画の作成と記録 | 月週案やクラスの記録          | 3 | 7 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節で楽しめる内容を考え、他のクラスの担任に相談している。</li> <li>・支援児のいる午前中に制作をするように心がけている。</li> <li>・忙しさで記録が後回しになってしまうこともあるので、メモ書きをしている。</li> <li>・こどもの成長や変化などを記録し、保育目標を考慮しながら計画を立てていった。</li> <li>・子どもたちが主体となって遊びを創り出していくことを大切にしたい。</li> <li>・月案にこどもの姿の記入欄も足され、月の初めと終わりによりこどもの姿をとらえる機会が増えた。</li> </ul>                                                                   |
|            | 発達段階や健康状態に配慮した保育計画  | 5 | 5 | 0 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事故対応       | 事故防止のために環境の配慮や保育の工夫 | 6 | 4 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの動きを予測して活動しやすい室内の配置や言葉かけをした。</li> <li>・予測される危険については環境を整えるとともに繰り返し伝えた。</li> <li>・散歩に出た際、道路や公園等、危険と感じたところはすぐに話し合い、共有している。</li> <li>・起きてしまった怪我や事故については他の職員と共有し、保護者へは丁寧に対応した。</li> <li>・支援児については特別な配慮が必要。</li> <li>・子どもたちの危険回避能力を高めるために、日々色々な動きの経験を心がけている。</li> <li>・散歩中、車道脇を歩くときには必ず手を繋ぐよう伝えた。</li> <li>・危険な行動に対してはその都度すぐに注意するようにした。</li> </ul> |
|            | 事故対応や連絡など           | 5 | 5 | 0 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| コミュニケーション  | 職員同士の連携             | 7 | 3 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士間で気付いたことを伝え合い、よりよい保育ができるよう努めている。</li> <li>・毎日こどもの変化や家庭の様子を伝え合い保育の向上につとめた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                         |
|            | 保護者対応               | 2 | 7 | 1 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|            | 社会的マナーなど            | 6 | 4 | 0 | 0 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |



|      |                          |        |        |        |        |                                                                                                                                   |
|------|--------------------------|--------|--------|--------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      |                          |        |        |        |        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの様子を話し合える時間をつくるよう心掛け、互いに考えを伝え合い、職員間で共通理解できるようにした。</li> <li>・言葉を丁寧に伝えるよう努めた。</li> </ul> |
| 環境整備 | 園行事の計画立案と実施<br>行事の連携協力など | 4<br>5 | 6<br>5 | 0<br>0 | 0<br>0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策に考慮し、行事の計画・変更を行った。</li> <li>・見通しを持って計画を作成するようにしている。</li> </ul>                       |

職員（保育教諭）の今後の業務上の目標 ※一部抜粋

|            | 何を                                                                                                                                                                                                          | どのように                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 職員集団の中での目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ち良く働ける職場環境</li> <li>・自分の意見も出し合い、より向上できる関係づくり</li> <li>・自分が何をすべきか、何ができるのかを考えて行動する</li> <li>・季節ごとの遊びや行事の大切さを理解し、職員間で協力し合っているように心がける。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>→保育について、自分の思い、考えを伝え合える話しやすい関係づくりをする。</li> <li>→広い視野を持ち、他の職員やこどもの様子を把握し、動く。</li> <li>→歌を覚えたり、遊び方を他の職員から学んだり、疑問に感じたことを発言できるようにしていく。</li> </ul>                                                           |
| 自分が目標にすること | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践できる遊び</li> <li>・ピアノや歌の技術向上</li> <li>・研修の参加</li> <li>・他のクラスのこどもや職員との関わり</li> <li>・こどもたちの姿を把握し、保育につなげる</li> <li>・保育内容の向上とチームワーク</li> <li>・保護者とのコミュニケーション</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>→環境、年齢など様々に対応できる遊びを学ぶ。</li> <li>→練習する時間を作る。</li> <li>→園内研修で意見交換をする。助言やアドバイスを記録する。</li> <li>→コミュニケーションを密にし、情報を共有する。</li> <li>→個人の記録や声掛けをする。</li> <li>→園内研修を定期的に行う。</li> <li>→家庭と連携し、情報共有をする。</li> </ul> |

職員（保育教諭）の自己評価による具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年度の評価結果と比較すると、職員一人ひとりの振り返りが具体的となり、より明確に課題を見つけることができている。その課題に対して、どう向き合っていくかを自分自身の中で模索しながら保育をしていくことが重要である。多忙な保育現場ではあるものの、自己評価をすることにより、現場の保育者自身の保育の在り方を振り返るよい機会となり、スキルアップのきっかけとなっている。今年度も、職員間の連携を図っていきたいという意見が多く出ていた。本園の教育保育理念を念頭におき、入園～卒園までのこどもの育ちを見通した保育を編成していくためには、職員間の意見交換をする場が不可欠である。時代が変化し、こどもを取り巻く環境も大きく変わってきている。園の教育保育理念としてのこどもがこどもらしく生きることが人間の土台として大切にするという方向性を持った保育をするために、人的環境も含めた園内環境の向上を目指す。資質向上を目指す。

今後もより良い保育の実現に向けて保育者、職員が自己評価の趣旨を理解し、振り返りと改善努力につなげることができるよう自己点検・自己評価に取り組んでいきたい。

【調理担当/自己評価】

常勤職員 1名 非常勤 1名

評価：◎十分達成されている ○達成されている △課題あり ×要改善

| 項目       | 評価内容                                                                                                                                        | ◎           | ○           | △           | ×           | 調理担当の取り組み状況<br>(一部抜粋)                                                                                                             |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 食育計画について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念に基づいた食育計画を作成している。</li> <li>・食育計画に基づいた食事の提供をしている。</li> </ul>                                     | 0<br>1      | 1<br>1      | 1<br>0      | 0<br>0      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理員と栄養士の話し合いにより献立作りをしている。旬の食材を取り入れることを心がけている。</li> </ul>                                  |
| 業務の役割    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの食事状況を見ている。</li> <li>・保育内容を理解し、献立作成や食事提供を行っている。</li> <li>・喫食状況、残食などの評価を踏まえて調理を工夫している。</li> </ul> | 0<br>0<br>0 | 1<br>2<br>2 | 1<br>0<br>0 | 0<br>0<br>0 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育中の散歩での食材探しや、おやつ作りの手伝い、野菜作りをすることが食育につながっている。</li> <li>・残食を見て、その後の食材の量を調節している。</li> </ul> |
| 食事の提供    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や個人差に応じた食事の提供をしている。</li> <li>・アレルギーに配慮した食事提供をしている。</li> </ul>                                     | 1<br>0      | 1<br>1      | 0<br>1      | 0<br>0      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食を進めるにあたり、各家庭での摂取状況をしっかりと確認したうえで、提供した。</li> </ul>                                       |

|           |                                                                      |   |   |   |   |                                                                     |
|-----------|----------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---------------------------------------------------------------------|
|           |                                                                      |   |   |   |   | ・おやつ時に食べていないものを提供してしまうミスがあった。                                       |
| 衛生管理      | ・調理のための衛生管理をしている。<br>・衛生的な食事の提供をしている。                                | 2 | 0 | 0 | 0 | ・食材の賞味期限や保管状況をこまめにチェックしている。<br>・食品を汚染しないように手洗いを徹底した。                |
| コミュニケーション | ・職員同士の連携がとれている。<br>・保護者にレシピや調理方法を知らせる等、保護者が家庭でもできるような具体的な情報提供を行っている。 | 0 | 2 | 0 | 0 | ・調理員同士の連携はとれているが、保育士との連携がとれていない。<br>・レシピを保護者に知らせる。こどもの好きな食材を保護者に聞く。 |

職員（調理担当）の今後の業務上の目標 ※一部抜粋

|            | 何を                       | どのように                                           |
|------------|--------------------------|-------------------------------------------------|
| 職員集団の中での目標 | ・保育職員と連携をとる              | →積極的に保育職員からの情報を収集する。<br>→調理員側から気付いたことを保育職員に伝える。 |
| 自分が目標にすること | ・新メニューの提案<br>・感染症対策と衛生管理 | →他園の献立も参考にする。<br>→こまめな清掃や消毒、手袋の使用、マスクの徹底をする。    |

| 職員（調理担当）の自己評価による具体的な目標や計画の総合的な評価結果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>昨年度同様に保育職員との連携に課題があることがわかった。業務の性質上、調理中に職員会議に出ることは難しいので、現段階では職員会議録を見て情報共有を図っているが、情報交換の場とはなっていないのが現状である。しかしながら、各クラスの担任と話をすることは、こどもたちの健康状態、給食中の様子を伝えるよい機会となる。どのように工夫すれば話し合いの時間を設けることができるか工夫することが今後の課題である。衛生管理に関しては徹底して行っている。食の安全を守り、おいしい給食を提供するという観点から今後も努めていく。</p> <p>自分自身の仕事を振り返り、課題に意識を向けることは重要なことであり、今後改善方法を見出していく。園の大切にしている3本柱の「遊ぶ・食べる・眠る」という中の「食べる」部分を担当している調理職員としての自覚を持ち、自己評価をすることが大切である。</p> |

## 施設関係者評価

### 7 施設関係者評価委員会の意見と評価

新たに編成されたぼぷら関係者評価委員会では、職員の自己評価とともに、保護者アンケートの結果から見えた保護者の想いや改善していく点について話し合いが行われた。評価内容を受け、今年度も職員一人一人の課題を園全体の課題として考え、今後のこども園運営に反映させていきたい。

#### 【評価内容】

- ・保護者は概ね園の運営に対して満足しているとの回答だったが、一部の保護者の意見も見逃さず、より丁寧な対応と情報提供が必要と感じた。
- ・今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、保護者の要望と、コロナ禍で対応し得る園の配慮の間で苦慮していることが伺える。
- ・情報発信、伝達コミュニケーションのあり方、方法を検討されたい。
- ・保育職員と調理職員の連携は大変重要なところだと思うので、工夫が必要である。
- ・職員たちが状況判断をしっかり行いその活動にあわせた方法で、こどもたちの保育・教育を行い、今年度も概ね良好な園運営がなされている。
- ・継続した自己評価が資質向上につながっていると思われる。
- ・また今年度も、保育の質の向上を図り、こども達の成長の手助けをしてもらいたい。